

UNITE
FOR
GOOD

よいことのために手を取りあおう

会長 木村知也 幹事 高橋太朗 広報委員長 森田雅之

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツツォ
国際ロータリー 第 2660 地区ガバナー 吉川 健之真実から目をそむけることはできない。助けを求めることは勇気ある行動です。
健康と幸せにいたる道を求めることは、さらに勇気があることです

例会場 『NORTH GARDEN』 例会日 毎週木曜日 18:30~

事務局 〒562-0014 箕面市萱野 4-2-43 ウィル包装ビル 403 号室 Tel:072-724-2781 Fax:072-724-1786

Email: mino-orc@abeam.ocn.ne.jp HP: http://mino-orc.net/

NO.2660

2026年2月5日

●本日の例会プログラム

2026年2月5日(木) 第2671回例会
IM 実行委員会 ロータリーデー打合せ

会場:『NORTH GARDEN』

●次回の例会プログラム

2026年2月12日(木) 第2672回例会
フォーラム 国際奉仕委員会(予定)

会場:『NORTH GARDEN』

◆前回

出席報告

・2026年1月29日(木)第2670回
会員数 33名 出席者 15名(出席率 50%)
ゲスト:IM 第1組ガバナー補佐 神寶敏夫様
【配布物】なし

◆会長挨拶◆

木村 知也

皆さま、本日もご出席いただきありがとうございます。

さて、本日の例会は、クラブ協議会となっております。芝野ガバナー補佐エレクトの要望もあり机の配置も口の字型に配置していますので、皆様の顔がはっきりと見えますし、新鮮な感じもするかと思います。先週はIMに向けたリハーサル形式の例会ということで、進行や役割分担、全体の流れの説明等行っていました。新たにいくつかの課題も浮かび上がってきたことと思いますが、実行委員の皆様、今後もよろしくお願いいたします。

★職業奉仕月間にちなんだ「四つのテスト」の深い話

1月は 職業奉仕月間 ですので、ここでロータリーの歴史にまつわるお話をしたいと思います。

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

皆さまご存じの「四つのテスト」は、実はロータリーが最初に作ったものではありません。1932年、アメリカ・シカゴロータリークラブの会員であり実業家のハーバート・J・テイラーが、倒産寸前の会社の再建を任された際に作成したのが始まりです。

当時、社員の士気は低く、取引先からの信頼も失われていました。そこでテイラー氏は、「正しいことを行う企業こそが生き残る」という信念のもと、社員全員が判断基準として使える倫理規範を作りました。実はそのときに作られたのは、現在の“四つ”ではなく、最初は“七つのテスト”だったと言われています。その後、より覚えやすく、誰もが実践しやすい形に整理され、現在の

四つにまとめられました。そしてこの“四つのテスト”がロータリーに正式に採択されたのは1943年。第二次世界大戦のさなか、世界が不信と混乱に包まれていた時代です。そんな時代だからこそ、ロータリーは「倫理的誠実さ」を国際的な共通言語として掲げる必要があったのだと思います。

●現代社会における「倫理的誠実さ」

四つのテストは90年近く前に生まれましたが、むしろ現代のほうが必要性が高いのではないのでしょうか。

●SNS時代の「真実かどうか」

情報が一瞬で広がる今、
・出所不明の情報を拡散しない
・感情的な投稿を控える
こうした姿勢は、第一項目そのものです。

●AI時代の「公平かどうか」

AIが意思決定に関わる時代だからこそ、
・偏見のない判断
・弱い立場の人への配慮
が求められます。

●分断が進む社会での「好意と友情」

価値観の違いが大きくなっている今こそ、
・相手の立場を理解しようとする
・違いを尊重する
これは第三項目に直結します。

●経済優先の時代に問われる「みんなのためになるか」

短期的な利益よりも、
・地域の未来
・子どもたちの環境
・社会全体の持続性
を考えることが、第四項目につながります。

こうして見てみると、四つのテストは単なるスローガンではなく、現代社会の“倫理のコンパス”として機能する普遍的な指針だと改めて感じます。

私たちロータリアンが日々の仕事の中で誠実に行動すること、そして地域のために正しい判断を積み重ねていくことこそが、職業奉仕の最も基本的で、最も力強い実践です。

それでは本日もどうぞよろしくお願いいたします。

☑ 4つのテスト 言行はこれに照らしてから

01 真実かどうか

02 みんなに公平か

03 好意と友情を深めるか

04 みんなのためになるかどうか

❖ 幹事報告 ❖

高橋 太朗

2月の例会 会場:NORTH GARDEN

5日 IM 実行委員会	打合せ等
12日 フォーラム 国際奉仕委員会	
19日 コラボ卓話	水島会員
26日 コラボ卓話	浦会員

❖ SAA報告 ❖

水島 教絵

ニコニコ

芝野弘三郎会員:神寶ガバナー補佐、ようこそ。よろしくお願
いします

山下健介会員:生カキにはお気をつけください
河野優作会員、木村貞基会員、水島教絵会員、武久智恵会員
浦収会員

米山奨学会

林たかみ会員、片山秀樹会員、河野優作会員、木村貞基会員
水島教絵会員、尾崎夏樹会員、武久智恵会員、浦収会員、
山下健介会員

ロータリー財団

西脇 悟会員:武久さん、ご栄転おめでとうございます!
河野優作会員、水島教絵会員、尾崎夏樹会員、浦収会員、
山本貴雄会員、山下健介会員

ポリオ

水島教絵会員、西脇悟会員、芝野弘三郎会員、山下健介会員
恒久基金
水島教絵会員、西脇悟会員、芝野弘三郎会員、山下健介会員

❖ 表彰 ❖

ロータリー米山記念奨学会

【米山功劳賞】

- 第1回 水島教絵会員
- 第2回 青 敬祐名誉会員(欠席)
- 第4回 河野優作会員
- 第10回 芝野弘三郎会員



・・・お知らせ・・・

武久智恵会員が1月末日を持ちまして東京
に異動となられ、後任として可知圭樹様が再
入会されます。武久様、大変お世話になりま
した。益々のご活躍をお祈り申し上げます。



❖ クラブ協議会 ❖

プログラム委員会	道林侑輝委員長
会員増強選考委員会	山根ひとみ委員長
幹事	高橋太朗会員
職業奉仕委員会	河野優作委員長
ロータリー財団委員会	西脇 悟委員長
米山奨学会委員会	水島教絵副委員長
(兼米山カウンセラー)	
SAA	水島教絵会員
会計	尾崎夏樹会員
IM 実行委員会	林たかみ委員長
会長エレクト	山本貴雄会員

❖ 神寶ガバナー補佐 講評 ❖

本日はありがとうございます。講評ではなく感想を申し上げ
させていただきます。クラブ協議会でお話をお伺いした全てに
ついては申し上げることはできませんが、特に印象に残ったも
のについてお話させていただきます。

まず補助金事業で行ったスケートボード講習会についてです。
箕面のスケートボードパークにおいて、子ども達を招いて講習
を行われ、また講習後の別日に大会まで開催されたとのこと
でした。お写真や、今お話をお聞きして会員の皆さんが一丸と
なって事業をされたことがよく解りました。また、現在はIMロ
ータリーデー、FR研修会につきましても皆さんに動いていた
だいております。本当にありがとうございます。最後に会長エ
レクトより、とても明確な次年度につきましてものお話をいた
だきました。これまでこのクラブがされてきたことを、次年度に繋
げていかれるということかと思えます。そのような方向性を明
確にするという意識をお持ちの会長エレクトであると思いま
した。とても楽しみにしているとともに心強く感じております。ど
うかこのクラブの伝統を繋いでいっていただき、箕面ロータリ
ークラブが発展していられるようにと思っております。どうぞこ
れからもよろしくお願いいたします。



☑ 4つのテスト 言行はこれに照らしてから

01 真実かどうか

02 みんなに公平か

03 好意と友情を深めるか

04 みんなのためになるかどうか